



邦楽名曲



III

明治 ~ 江戸

長唄

元禄風花見踊

唄 杵屋和吉・東音味見純・杵屋正一郎・杵屋勝四助
三味線 杵屋勝松・杵屋勝一郎・杵屋裕太郎・杵屋勝国毅

笛

小鼓

大鼓

太鼓

福原百之助・福原遊馬

望月左太寿郎

望月正浩

新内節

不心底闇鮑―不心中―

浄瑠璃

三味線

上調子

新内多賀太夫

鶴賀志代寿郎

新内伸之介

地歌

四つの民

箏

三絃

尺八

福田栄香

藤井泰和

青木鈴慕

薩摩琵琶

彰義隊

琵琶

須田誠舟

端唄

わがものほか

唄

三味線

栄芝

本條秀太郎ほか

箏曲

明治松竹梅

箏替手

箏本手

尺八

米川敏子

深海さとみ

善養寺恵介

令和5年
1月28日(土) 午後4時30分開演

東京・半蔵門
国立劇場 小劇場
〒102-3676 東京都千代田区千代田4-1
03-3265-7111(代表)
<https://www.ntj.jac.go.jp/>

●入場料金(税込・全席指定)
5,000円/学生 3,500円 [本公演は休憩がございます]
[字幕表示がございます]

●予約開始＝12月18日(日) 午前10時
[電話] 国立劇場チケットセンター(午前10時～午後6時)

0570-07-9900 03-3230-3000
(一部IP電話等)

●窓口販売開始＝12月19日(月)(チケット売場 午前10時～午後6時) ※窓口販売用に関するお取り扱いはございません。

新型コロナウイルス感染予防の対策に、ご理解とご協力をお願いいたします。詳細はホームページをご覧ください。

インターネット | 国立劇場チケットセンター | 検索

邦楽名曲選 III

江戸 明治

初代国立劇場さよなら公演シリーズ「邦楽名曲選」では、古代から近代まで全三回にわたり、各時代を代表する作品をお届けします。

第三回は、江戸から明治時代までの特集です。町人文化が繁栄し、近代生活へと変遷した時代。音楽性豊かな名曲の数々を、各界の第一線で活躍する実力者の演奏でお楽しみください。

元禄風花見踊

江戸時代、新しい文化が育まれた元禄期、大衆は上野の花見に興じます。湯屋の勝山や丹前姿の武士、供奴など、様々な人物で大賑わい。歌・三味線・囃子それぞれに多彩な工夫が凝らされており、華やかで変化に富んだ名曲です。

不心底閨鮑 — 不心中 —

遊女小富と七兵衛は、二人で心中を言い交わしました。しかし七兵衛は、いろいろ難癖をつけては心中を嫌がり、挙句の果てには逃げ出してしまいます。滑稽な中にも哀愁の漂う新内節ならではの魅力が溢れています。

四つの民

士農工商の身分を総称して、四つの民と名付けられました。それぞれの職業の生活風俗が四季になぞらえて描かれています。松浦の四つ物にも数えられる名作でありながら、上演頻度の少ない稀曲でもあります。

彰義隊

幕末維新期に旧体制を尊んだ武士たちが、新政府軍に対抗して彰義隊を結成します。一時善戦するものの、力及ばず敢えなく悲運の最

期を遂げるまでが綴られています。薩摩琵琶の力強い演奏と悲哀味に満ちた語りをお聴きください。

わがものほか

端唄は幕末から明治期にかけて大流行しました。本曲では、雪の夜に人目を忍び会う男女の胸中を綴ります。短い作品ながらも、江戸東京の風情を留めた味わい深い曲を数曲お楽しみください。

明治松竹梅

明治天皇や昭憲皇太后が松竹梅に掛かる和歌を御製しました。新春の御代を祝い、吉祥を寿ぐ和歌六編が、典雅な雰囲気でお歌われています。箏の高音と低音、尺八の合奏が精彩を放つ、明治時代を代表する曲の一つです。

特別座談会「日本の歌、語りをたずねて III」

本公演に関連し、松岡正剛(編集工学者)と各演奏家による座談会を開催します。日本文化から見た歌や語りの特徴について、それぞれの観点から語り合います。1月6日頃よりミレールにて映像配信。詳しくは以下HPよりご確認ください。



松岡正剛



<https://www.ntj.jac.go.jp/topics/kokuritsu/2022/50128.html>



藤井泰和

福田栄香

鶴賀崑代寿郎

新内多賀太夫

福原百之助

杵屋勝松

杵屋和吉

善養寺恵介

深海さとみ

米川敏子

本條秀太郎

栄芝

須田誠舟

青木鈴慕



令和5年1月28日(土)

午後4時30分開演
(午後7時20分終演予定)

●入場料金(税込・全席指定)

5,000円/学生 3,500円

[本公演は休憩がございます]
[字幕表示がございます]

※障害者の方は2割引です(他の割引との併用不可)。また、車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。
※出演者などの変更の場合はご了承ください。

●予約開始=12月18日(日)午前10時

[電話] 国立劇場チケットセンター(午前10時~午後6時)

0570-07-9900 03-3230-3000

[インターネット]

国立劇場チケットセンター 検索



●窓口販売開始=12月19日(月)(チケット売場 午前10時~午後6時) ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。
●プレイガイド チケットぴあ <https://t.pia.jp/> e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

東京・平塚 国立劇場

〒102-8656 東京都千代田区千代田4-1
03-3265-7411(代表)
<https://www.ntj.jac.go.jp/>

ご来場されるお客様へのお願い

- ご入場の際、サーモグラフィー等による検温を行います。発熱等の症状がある場合、入場をご遠慮いただきます。
- 列にお並びの際は、他のお客様との間隔を空けてください。
- 必ずマスクを着用願います。ワクチン接種済みの方もマスクをご着用ください。
- 客席、ロビー等での大声での会話、舞台への掛け声等をご遠慮ください。
- 手洗いと手指消毒にご協力ください。
- 出演者へのプレゼント、入り待ち、出待ち、楽屋見舞い等はご遠慮ください。